

教科: 国語 科目: 言語文化  
 対象学年組: 第 1 学年 A 組 ~ F 組

単位数: 2 単位

教科担当者: (A~C:大西) (D~F:井上)  
 使用教科書: 『新編 言語文化』大修館書店

教科	国語	の目標:	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。
【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。		
【思考力、判断力、表現力等】	生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。		
【学びに向かう力、人間性等】	言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。		

科目	言語文化	の目標:	言葉を通して適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高める。思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、表現することによって言語能力の向上と社会生活の充実を図る態度を育てる。
【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深める。	【思考力、判断力、表現力等】	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しんで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。		

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配当 時数	
			語	書 読						
1 学 期	<b>単元</b> 古文に親しむ <b>【知識及び技能】</b> ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解する。 <b>【思考力・判断力・表現力等】</b> ・「読むこと」において、作品や文章に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 <b>【学びに向かう力・人間性等】</b> ・古文を読むことに興味をもち、積極的に音読したり響きやリズムを味わったりしようとする。	・指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等 古文への招待 「いろは歌」「古文冒頭選」 ・古典の言葉と現代の言葉のつながりについて理解する。 ・受け継がれてきた古文を音読し、響きやリズムを味わう。 ・教科書にあるQRコードを読み取り、音声教材を活用する。			<b>単元</b> 古文に親しむ <b>【知識及び技能】</b> ○漢字仮名交じり書きの本文を見て正しく音読している。 <b>【思考力・判断力・表現力等】</b> ○本文のおおまかな内容を理解している。 ○いろはカルタ・いろは坂などの例をふまえて、「いろは歌」の言語文化的意義を考えている。 <b>【学びに向かう力・人間性等】</b> ○音読や暗唱に進んで取り組もうとしている。					4
	<b>単元</b> ことばと出会う <b>【知識及び技能】</b> ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増やし、それらの文化的背景について理解を深める。 <b>【思考力・判断力・表現力等】</b> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確にとらえる。 <b>【学びに向かう力・人間性等】</b> ・言葉についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、日常使っている言葉を見つめ直そうとする。	・指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等 「言葉の森を育てよう」 ・言葉についての筆者の考えを読み取り、言葉が果たしている役割を理解する。 漢字と仮名の使い分け ・日本語の表記の特色について、筆者の主張をとらえる。 ・表記に興味をもち、調べたり考えたりする。			<b>単元</b> ことばと出会う <b>【知識及び技能】</b> ○言葉が生まれる理由について理解している。 ○漢字、ひらがな、カタカナの使い分けが生み出す効果について理解している。 <b>【思考力・判断力・表現力等】</b> ○随想の特徴をふまえ、本文が二段落で構成されていることがわかり、筆者の主張を理解している。 ○「言葉の森を育てよう」という題名の意味について理解し <b>【学びに向かう力・人間性等】</b> ○日本語の表記の特色や独自性について、筆者の主張を的確にとらえようとしている。					6
	定期考査									1
	<b>単元</b> 古文に親しむ <b>【知識及び技能】</b> ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解する。 <b>【思考力・判断力・表現力等】</b> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確にとらえる。 <b>【学びに向かう力・人間性等】</b> ・古文を読むことに興味をもち、登場人物の行動や心情を読み取ろうとする。	・指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等 「児のそら寝」 ・繰り返し音読し、古文の読みに慣れる。 ・児と僧たちの行動、心情の移り変わりを読み取る。			<b>単元</b> 古文に親しむ <b>【知識及び技能】</b> ○歴史的仮名遣いを理解した上で、本文を正確に読んでいる。 <b>【思考力・判断力・表現力等】</b> ○児がそら寝をした理由を理解している。 ○なぜ僧たちは「笑ふことかぎりなし」だったのかを理解している。 <b>【学びに向かう力・人間性等】</b> ○作品に描かれる登場人物の行動や心情から、当時と現代との差異を考えようとしている。					6
	<b>単元</b> 表現を味わう <b>【知識及び技能】</b> ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解する。 <b>【思考力・判断力・表現力等】</b> ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかた、表現の特色について評価する。 <b>【学びに向かう力・人間性等】</b> ・登場人物の人物像や心情を読み取ることに興味をもち、作品の構造を理解しようとする。	・指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等 「とんかつ」 ・登場人物の描写から人物像をとらえ、場面ごとの心情を読み取る。 ・語り手の役割や場面の展開に着目し、作品の構造を理解する。			<b>単元</b> 表現を味わう <b>【知識及び技能】</b> ○方言に興味を持ち、関心のある地域の方言を調べたりしている。 <b>【思考力・判断力・表現力等】</b> ○この親子にとって「とんかつ」を食べることにはどのような意味があるのか考えを深めている。 <b>【学びに向かう力・人間性等】</b> ○方言を使う人物の描写や登場が、他の作品でもあるかを探したり、調べようとしている。					4
	定期考査									1
<b>単元</b> 随筆を楽しむ <b>【知識及び技能】</b> ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解する。 <b>【思考力・判断力・表現力等】</b> ・「読むこと」において、作品や文章に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 <b>【学びに向かう力・人間性等】</b>	・指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等 『春はあけぼの』 ・音読して古文の読み慣れ、文章の特色を理解する。 ・作者のもの見方や感じ方について、自分の考えをもつ。			<b>単元</b> 随筆を楽しむ <b>【知識及び技能】</b> ○重要古語について理解し、読解に活用している。 <b>【思考力・判断力・表現力等】</b> ○本文に表れた作者の季節感や自然観などを理解している。 <b>【学びに向かう力・人間性等】</b>					6	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>『枕草子』に興味をもち、作者のものの見方や感じ方を読み取り、自分の考えをもととする。</li> </ul>				○作者の季節感、自然観について自分と比べ、考えを深めようとしている。				
2 学 期	<b>単元</b> 物語を受け継ぐ <b>【知識及び技能】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。</li> </ul> <b>【思考力・判断力・表現力等】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>『読むこと』において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。</li> </ul> <b>【学びに向かう力・人間性等】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとらえて他者や社会に意欲的に関わろうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等</li> </ul> 『羅生門』 (参考『今昔物語集』巻第二九第一八) <ul style="list-style-type: none"> <li>小説の構成をとらえ、登場人物の心情の変化を読み取る。</li> <li>元になった古典作品とふまえて、内容の解釈を深める。</li> <li>教科書にあるQRコードを読み取り、音声教材を活用する。</li> </ul>	○	○	<b>単元</b> <b>【知識及び技能】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>新たな漢字の読み方を自覚しながら本文を音読し、ワークシート等で必要な漢字を用いている。</li> </ul> <b>【思考力・判断力・表現力等】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>場面ごとに変化する下人の心情を読み取り、作品のテーマについて考えている。</li> </ul> <b>【学びに向かう力・人間性等】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>比べ読みについて関心を抱き、読書への意欲を高めようとしている。</li> </ul>	○	○	○	10
	定期考査					○	○	○	1
	<b>単元</b> 物語の広がり <b>【知識及び技能】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解する。</li> </ul> <b>【思考力・判断力・表現力等】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>『読むこと』において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉える。</li> </ul> <b>【学びに向かう力・人間性等】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>作品に興味をもち、登場人物の行動や場面の展開、和歌に表れた心情を読み取ろうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等</li> </ul> 『伊勢物語』『筒井筒』『あづま下り』 <ul style="list-style-type: none"> <li>登場人物の行動や場面の展開を正確に把握する。</li> <li>和歌に表れた心情を読み取り、本文の中で和歌が果たしている役割を考える。</li> </ul>	○	○	<b>単元</b> 物語の広がり <b>【知識及び技能】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>和歌について、基本的な修辞技巧について理解している。</li> </ul> <b>【思考力・判断力・表現力等】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>和歌が恋愛の端緒となっていることを読み取っている。</li> <li>それぞれの和歌の内容を理解している。</li> </ul> <b>【学びに向かう力・人間性等】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>登場人物の気持ちが各場面ですどのように変化しているのかを理解しようとしている。</li> </ul>	○	○	○	6
	定期考査					○	○	○	1
3 学 期	<b>単元</b> ことばと生きる・近代文学に触れる <b>【知識及び技能】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解する。</li> </ul> <b>【思考力・判断力・表現力等】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>『読むこと』において、文章の種類や展開、表現の仕方、表現の特色について評価する。</li> </ul> <b>【学びに向かう力・人間性等】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>作品に興味をもち、場面の様子や人物の心情を想像したり文章表現を味わったりしようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等</li> </ul> 「祖母が笑うということ」 <ul style="list-style-type: none"> <li>叙述をもとに、場面の様子や人物の心情を想像しながら読む。</li> <li>「コルベ神父」</li> <li>文章の展開のしかたを的確にとらえる。</li> <li>教科書にあるQRコードを読み取り、音声教材を活用する。</li> <li>「夢十夜」</li> <li>小説を読み味わう。</li> </ul>	○	○	<b>単元</b> ことばと生きる・近代文学に触れる <b>【知識及び技能】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>題名の意味について考えている。</li> <li>コルベ神父の人物像と、当時の状況を理解し、「奇蹟」や「愛」について理解している。</li> </ul> <b>【思考力・判断力・表現力等】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>祖母が筆者に「この家にいる生き物は、全部おじいちゃん」と言った意味を読み取っている。</li> <li>カチャーシーを踊る祖母の動きが、何に重ねられているのかを想像しようとしている。</li> <li>祖母が筆者に対して「泣きながら手を握ってくれる」のはなぜか読み取ろうとしている。</li> <li>日常の「愛」について見つめ直そうとしている。</li> </ul>	○	○	○	11
	定期考査					○	○	○	1
	<b>単元</b> 漢文に親しむ <b>【知識及び技能】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。</li> </ul> <b>【思考力・判断力・表現力等】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める。</li> </ul> <b>【学びに向かう力・人間性等】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>漢文に興味をもち、訓読に意欲的に取り組もうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等</li> </ul> 「訓読のきまり」「格言」「再読文字」 <ul style="list-style-type: none"> <li>漢文の訓読のきまりについて理解する。</li> <li>漢語・漢文と我が国の言語文化の関係について理解を深める。</li> <li>教科書にあるQRコードを読み取り、音声教材を活用する。</li> </ul>	○	○	<b>単元</b> 漢文に親しむ <b>【知識及び技能】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本語との語順の違いを理解している。</li> <li>例文を音読でき、書き下し文に直すことができる。</li> </ul> <b>【思考力・判断力・表現力等】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>各文について内容を理解し、格言などを日常会話などで使う場面があることを理解している。</li> </ul> <b>【学びに向かう力・人間性等】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>教材に興味をもって取り組み、漢文訓読のきまりを理解しようとしている。</li> </ul>	○	○	○	12
	定期考査					○	○	○	1

合計

70